

関係者各位

貝毒プランクトンの調査について

本日、宿毛湾内を巡回し、海面の着色が見られた地点において検鏡を行いましたので、結果をご報告いたします。

検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大700～800細胞/ml、ギムノディニウムカテナータムが最大17細胞/ml 確認されました。今回検鏡を行ったのは海域に着色が確認された下記3地点のみですが、宿毛湾内の広い範囲において、上記のプランクトンで構成される赤潮が発生している可能性があります。

そのため、海産二枚貝の摂食は自粛をお願いいたします。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	アレキサンドリウム 属	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ ml)	
大島(別図⑦周辺) 採水時間 9:13 透明度 - m	0.0	17.5	32.6	7.1	507	17
立石周辺(別図⑫周辺) 採水時間 9:33 透明度 - m	0.0	-	-	-	266	0
大海(別図①～④の間) 採水時間 9:50 透明度 - m	0.0	-	-	-	700～800	0

「赤潮・貝毒プランクトンの調査について」は当所ホームページ内の「宿毛湾赤潮情報」(URL: <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040406/akasio.html>)においてもご覧いただけます。